

特定非営利活動法人

市民事務局



LET IT GROW

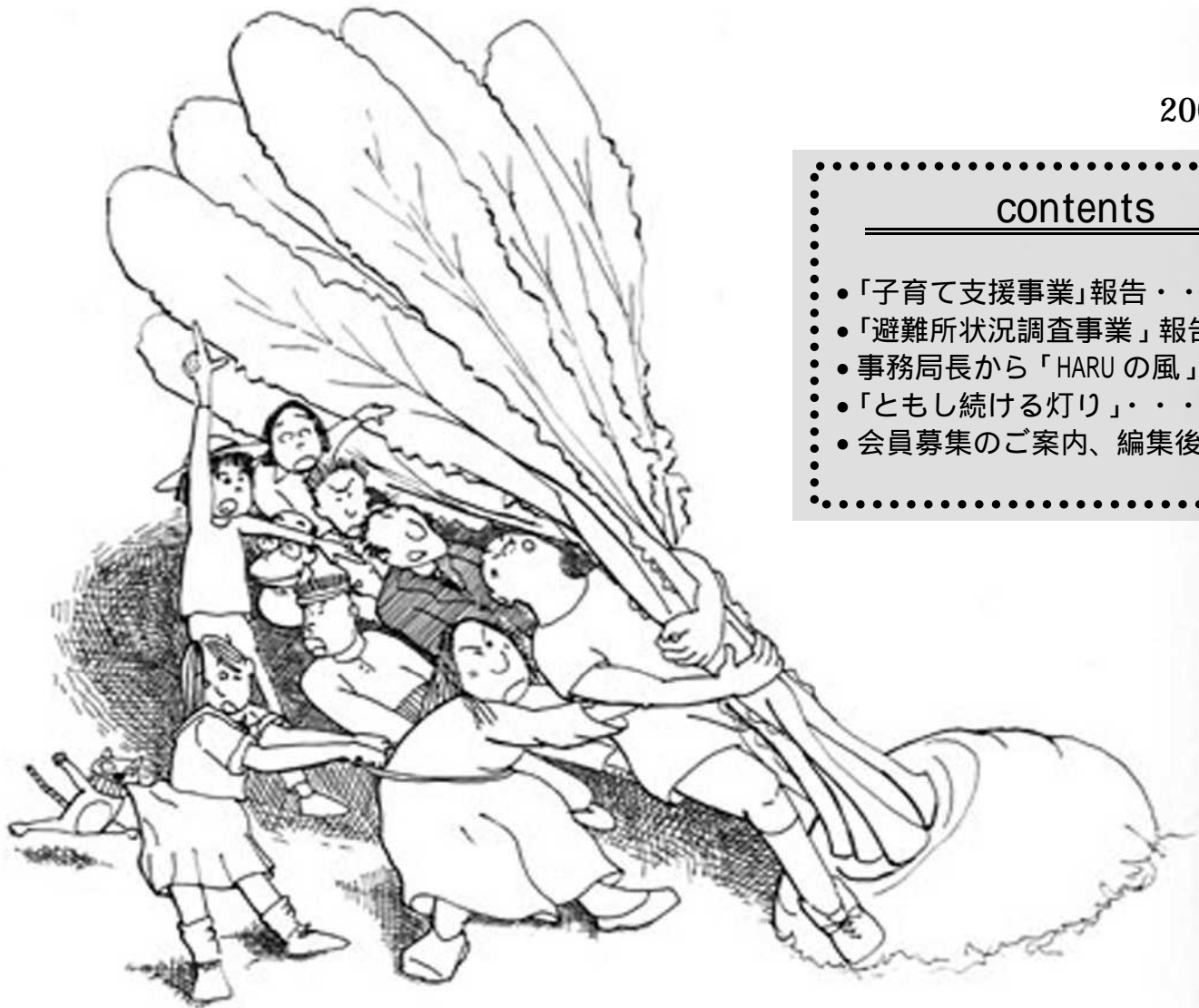
かわにし

~ Newsletter Vol. 11 ~

2009.12.22

contents

- 「子育て支援事業」報告・・・ 2
- 「避難所状況調査事業」報告・・・ 3
- 事務局長から「HARUの風」・・・ 3
- 「ともし続ける灯り」・・・ 4
- 会員募集のご案内、編集後記・・・ 4



特定非営利活動法人市民事務局かわにし

tel 072-774-7333

fax 072-774-7334

e-mail jim@jttk.zaq.ne.jp

HP <http://www.npojmkawanisi.org/>

blog <http://www.hnpo.comsapo.net./jkawanisi/>



“ともし続ける灯り”

2005年4月25日のJR福知山線脱線事故で被害に遭われたみなさまの「灯(ともしび)」となるような支援活動に取り組んでいます。

●【情報相談】

- ・月曜日～土曜日(日・祝を除く)午前10時～午後5時
- ・専門家(臨床心理士や弁護士など)や、専門機関へもおつなぎします。

●【語りあい、分かちあいのつどい】

- ・被害者やそのご家族などの横のつながり、支えあいのための「つどい」の「場」をもっています。
- ・専門家(臨床心理士や弁護士など)への相談もできます。
- ・アロマセラピストの方々がハンドマッサージに来てくださることもあります。

- ・第51回「つどい」 01/11(月)14:00-16:00(祝日)
 - ・第52回「つどい」 02/06(土)14:00-16:00
- 2010年4月度からは当事者による自主運営になる予定
原則、毎月第1土曜日午後開催
場所は、いずれも川西市市民活動センター



会員(正会員 / 賛助会員)として、当法人を支えてください!!

- ❖ 特定非営利活動(NPO)法人市民事務局かわにしは、皆さまの会費に支えられながら活動を展開しております。ご協力いただきました会費は、当法人の事務局運営や地域での社会貢献活動の一助となり、「公」を担う活動で還元してまいります。
- ❖ JR福知山線事故につきましても、この沿線の中継地域として、被害者の皆さまの相談窓口となって長期間にわたる支援活動をしていく所存です。
- ❖ これからの新しい「公」を担う市民事務局かわにしを、どうか皆さまの温かな「心の投票(会費)」で支えてください!!

会員(正会員 / 賛助会員) & 年会費についてご案内

会員種別	個人	団体(企業)	団体(非企業)
正会員	5,000円	10,000円	5,000円
賛助会員	3,000円	5,000円	3,000円

- 1 会員期間:4月1日～翌年3月31日
- 2 会員の皆さまには、随時、市民事務局かわにしの活動状況や、講座案内など有用な情報をお届けします。
- 3 正会員には、当法人の運営について総会での議決権があります。
- 4 非企業とは、NPO法人など非営利団体をさします。
- 5 お納めいただいた会費は返金できませんことをご了承下さい。

会費納入はコチラへ
詳細のお問合せ

【郵便振替口座】特定非営利活動法人市民事務局かわにし 00950-6-297192
【事務局連絡先】 tel (fax): 072-774-7333 (7334)

「市民事務局かわにし」を支えてくださっているみなさま いつもご支援本当にありがとうございます!!

【正会員】

東孝司 網野亜紀子 有藤浩 有本恵子 大島伸一郎 尾崎健二 喜田和代 小西佑佳子 駒井守 小柳教子 小柳繁清 佐々木清二 佐野恵美子 嶋崎真二 道幸奈津子 豊原伸一 中川幾郎 久隆浩 松尾伸二 松村若葉 三井ハルコ 山下淳 横島毅 横田信之 吉岡行廣 株式会社ジョイン川西 竹内行政書士事務所 NPO法人川西再発見 NPO法人宝塚NPOセンター NPO法人ピース・ゲーム NPO法人ふれんど NPO法人みち どんこうサークル

【賛助会員】

岩切幸子 植杉軍一 植田るり子 梅澤信久 岡井ミツコ 勝田民子 鎌田満子 木原恵美子 久保恵子 栗岡多恵子 駒井澄子 阪本富士治 佐藤等史 菅原巖 武居玲子 谷清 田村幹夫 津久井進 中島亜矢子 中濱弘子 中元一哉 西田尚子 西丸きぬ子 畑尾卓郎 弘世伸子 藤原嘉之 斯波康晴 堀口節子 前田輝 正木みつ子 松尾孝義 松尾高子 三野秀方 宮坂満貴子 向井陽子 森田勝子 柳田きぬ 山本光男 横山道雄 吉田隆志 和田孝子 NPO法人猪名川在宅介護を考える会 NPO法人関西イー・エルダー NPO法人地域活動ステーションぬくもりの家 NPO法人ブルービーンズシア (株)い～お仕事・協和工業 川西久代郵便局情報紙「ぜんざい」 グループ風 39パソングループ 三田ほんまちはかりや倶楽部

(敬称略、五十音順 12/20 現在)

音と共に生きていくとを感じる。今は冬の音。朝、風と雪の音が僕を起こしたことに気づく。光景をみてしまうと、もう動けなくなる。否応なく、自然の中に取り込まれたことを思い知らされる。一年に一度あるかないかの、その日。生きる、生きてゆく素晴らしさ あまりの強さ 心の豊かさ。冬の音は僕に世の中と世界の両方を教えてくれるのだ。一步一步、その日に近づいてゆく。

やはり冬は素晴らしい。ここは地球だから。
(matchan)

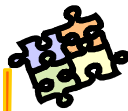
編集後記

address: 〒666-0015
川西市小花 1-8-1-104 ジョイン川西
tel: 072-774-7333 fax: 072-774-7334
p-c-mail: jim@jttk.zaq.ne.jp
h-p-u-r-l: http://www.npojmkawanishi.org/
b-l-o-g-u-r-l: http://www.hnpo.comsapo.net/jkawanishi/

編集 / 発行: 特定非営利活動法人市民事務局かわにし



「NPOと行政の子育て支援会議運営事業」



今年度、当法人では、兵庫県から委託を受けて「NPO と行政の子育て支援会議運営事業」に取り組んでおります。この事業の前段として、平成 18 年 8 月に、「NPO と行政の子育て支援会議」という組織と事業体が発足しており、当該年度の受託事業は、その事業の地域単位での活性化と、中間支援的な業務がメインとなっています。

「NPO と行政の子育て支援会議」とは・・・

平成 18 年 8 月、NPO と行政(兵庫県・各市町)とが協働して、「子育ての支援の輪を広げよう！」という趣旨で、「NPO と行政の子育て支援会議」が発足しました。これは、NPO と行政が継続して情報を共有し、協働して子育てや若者支援をしていくことを目的としており、この 3 年間で、仕組みづくりや「子育て支援メッセ」「地域交流会」の開催、メールマガジンの発行などの支援体制が整いました。

会員 2009 年 10 月現在、149 団体 (NPO : 107 団体 / 県・市町 : 全 41 市町)

「会員」になると・・・

地域の子育て支援に取り組む NPO 等と交流することができます。

各地域を担当する 5 つの団体 (受託団体) から、会員団体の取組みについて相談などの支援を受けることができます。

会員が主催する行事等について参加者募集 PR などの協力を受けることができます。

地域ごとの情報紙及び全県情報紙のメール配信(ファックス)により、地域の NPO 等の活動や行政情報等が受けられます。

支援会議のイベント (子育て支援メッセ、地域交流会等) に参加できます。

県発行の月刊情報紙「ひょうご子ども未来通信」や助成金募集情報等がメール配信されます。

- ♪ この事業の一環として 11 月 15 日 (日) に三田にて、そして 12 月 1 日 (火) に川西にて、「地域交流会」を開催しました！この「地域交流会」では、単に地域の子育て支援グループに集まっていただけでなく、「ノーバディーズ・パーフェクト」プログラムの「体験交流会」として開催しました。
- ♪ カナダで生まれた「ノーバディーズ・パーフェクト」プログラムは、子どもを持つ親たちが、それぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出しあって話しあいながら、自分にあった子育ての仕方を学ぶもので、本来は一日 2 時間のプログラムを 6 回～10 回かけて実施されます。
- ♪ 今回は 2 時間で体験版で、プログラムのことを知っていただきつつ交流も図ろうと企画しました。
- ♪ 三田では、多くのお母さんや子育て支援者に参加いただき、会場は熱気でいっぱいでした。交流会の最初は、硬い表情を見せていた方々も、NP ファシリテーターの小泉雅子さんの温かく、やわらかい進行に、徐々に笑顔が増え、リラックスした雰囲気「体験交流会」が進んでいきました。
- ♪ 川西では、本来の趣旨に近く子育て支援者が中心での「体験交流会」でしたが、普段から活動しておられる方々は、このプログラムの意図を的確につかんでおられたようでした。また子育て中のママさんたちには新たな出会いもあったようで、終始和やかで楽しい「地域交流会」となりました。



小泉雅子さん：

三田にある「NPO 法人保育ネットワーク・ミルク」の理事長で、神鉄「横山駅」前の「よこやま保育園」でも保育にあたっておられます。ノーバディーズ・パーフェクトプログラムについては、いち早くファシリテーター資格も取られ、NPO 業界の、特に保育分野では、先頭を走っておられる活動家です！



災害時要援護者のための 避難所状況調査



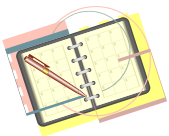
川西市危機管理室から「災害時要援護者のための避難所状況調査」を受託して、12月中旬より市内の避難所を順次調査しています。73箇所の避難所のうち14箇所をすでに訪問し終えました。

今回の調査は、要援護者(車イス利用者・杖歩行者・聴覚障害者・視覚障害者等)が避難する場合に、臨時的に滞在可能かどうかを調べるものです。バリアフリーなど施設の整備状況、情報伝達の設備、その他施設環境について調査しています。あわせて既存施設周辺で、要援護者の避難所として適切と考えられる施設の把握も行っています。

福祉施設勤務経験を持つ調査員2名と調査事務員1名とともに、要援護者の方々の目線に立ったきめの細かい調査を行っています。地元の間支援 NPO 法人が受託したメリット、地域に密着した情報の収集や、市民目線を活かして、できるだけ多くの有用な情報を集約し、要援護者だけでなく市民に役に立つ報告ができるようにと考えています。

地域に根ざした中間支援 NPO として、任意団体時より積み上げてきた実績を認めていただけた受託事業だと思います。これから寒い時期に向かいますが、新規採用したスタッフのみなさんと一緒にがんばっていきます。

避難所調査スタッフ紹介！！ よろしくお願ひいたします m(_)_m



調査員: 深町延子



調査員: 寺澤貴代美



調査事務: 多田千景

事務局長から ~ HARUの風(4) ~ 『年末・年始のごあいさつ！』

- あっという間に12月も下旬となり、政局の大変換のあった2009年も終わろうとしています。みなさまにとって、特にNPOにとって、この一年はどんな年だったでしょうか？ 追い風となったでしょうか？
- ともすれば、目の前の日々の作業にしか目がいかず、その業務に追われがちですが、事務局をあずかる立場としては、常に「虫の目」と「鳥の目」をバランスよく保ち続ける重要性を感じています。
- 2010年度は(2009年度からその準備が始まっていましたが)、当法人にとって大変換期となります。長年の悲願が実現する年度でもあり、その「あり方」が注視され、当法人の真価が問われる年度といってもいいでしょう。身の引き締まる思いでいます。年末年始は、気持ちを清くして、来るべき年度に向けての方針を考える、そんな過ごし方をしたいと思っています。
- ところで、目標を設定するコツとして、『SMART』というのがあるそうです。 Simple(簡単にする!) Measurable(なるべく数字に表す!) Achievable(ちょっとがんばれば達成できることにする!) Result-based(成果が測れるものにする) Time-oriented(時限を区切ったものにする!) これらを書き記す&貼っておく! 「書いて視覚化する」ところが肝要だと...
- 今年一年、みなさまのご支援の元に健やかに、朗らかに過ごせてきたことに、心から感謝し、また、みなさまのご健勝ご多幸を祈りつつ、今年最後の「HARUの風」をお送りいたします。よいお年を!

